

## 2021年12月期 第2四半期決算説明会 質疑応答の要約

2021年8月10日に開催した決算説明会において、参加者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。GMOインターネット 代表取締役会長兼社長・グループ代表の熊谷、取締役副社長グループCFO 安田より回答させていただきました。また、一部IR部門にて回答を補足させていただいております。

### ●連結業績

- 【Q1】 上半期の業績が好調に推移しており、今期はかなり投資余力がある期とも考えています。投資に対する考え方、戦略投資を振り分け先として考えているものがあれば教えてほしい。
- 【A1】 まず、当社グループの投資に関する原則的な考え方は、上期の業績進捗を見て下期に投資を行うというものです。上期は大幅達成しているため、下期は期初計画の通り投資を実行する予定であり、投資を加速するという考えは基本的にはありません。なお、優先度の高い領域としては、伸び盛りの商材、例えば「電子印鑑GMOサイン」、「GMOコイン」などを考えております。

### ●インフラ事業

- 【Q2】 インフラの売上成長が1桁前半となっており、アクセス事業の減速が要因と考えるが今後の見通しは？
- 【A2】 モバイルのWiMAXがキャリアの価格改定の影響を受け、弱含みで推移しています。一方、固定回線のドコモ光については好調に推移しており、両者を合わせた回線数は堅調に推移しております。回線あたりの売上高ではWiMAXの方が大きいものの、合わせて原価計上もあるため、回線あたりの利益額については両者に違いは殆どありません。セールスマックス変更の影響は続くと考えており、今後は固定回線をより強化してまいります。
- 【Q3】 その他売上の減少分のうち、アクセス事業と連動しているのはどれほどか？
- 【A3】 その他の減少分はほぼアクセス事業の販売支援金の減少によるものです。
- 【Q4】 GMOグローバルサイン・HDの収益拡大イメージについてどう考えているか？
- 【A4】 GMOグローバルサイン・HDには、なくてはならないSSLサーバー証明書と、GMOサインという2大商材による高成長を期待しています。
- まず、SSLサーバー証明書は、ごく短期的には、業界のレギュレーション変更のマイナスの影響が出ていますが、常時SSL化というのが大きな流れにより販売件数が継続的に拡大すると見えています。
- 次に、GMOサインについてはグループの中でも一ニを争う息の長い商材になるのではないかと期待しています。個人向けには、月間または年間数百円で、国内のみならず海外

# GMO INTERNET

まで含め、全ての方のスマホに普及する可能性があるプロダクトだと考えています。圧倒的シェアの獲得とマネタイズがうまく噛み合えばとてつもない規模になる可能性を秘めていると感じています。

## ● 広告・メディア事業

- 【Q5】 V字回復の要因について、3つの要素すなわち、①売上構成比における自社商材比率の上昇、②コロナの影響を受けづらい広告主の開拓、③ネット広告市場全体の活性化がドライバーとなっているということでしょうか？
- 【A5】 表面的にはそのとおりだが、背景にあるのは組織のコンディション、モチベーションの改善が大きいと考えています。このセグメントには1000人を超えるパートナーが所属しているが、コロナ禍においても内部的な取り組みを淡々と行ってくれました、個人的にはそこを評価しています。その結果として指摘いただいた3つの事象が発生したという認識です。
- 【Q6】 下期は戦略投資も行われるとのことだが、今後の事業トレンドに対する見方をどう考えているか？
- 【A6】 数字については、広告・メディア事業の事業特性上、季節性の影響を受けるものの、大きなトレンドとしてはポジティブな流れが継続するものと期待しています。

## ● 金融事業

- 【Q7】 上期は前年同期比で弱かったが、下期の見通しはどのように考えているか？
- 【A7】 昨年上期はコロナによってマーケットが活況であったため、上期はハードルが高かったが、昨年同期はスプレッド競争があったこともあり、市況影響はあるものの下期はそれほどハードルが高いとは考えておりません。

## ● 暗号資産事業

- 【Q8】 GMOコインについては上期もかなり積極マーケティングをしていた印象だが、下期の考え方は？
- 【A8】 GMOコインについては知名度の向上に向けて、継続的なマーケティング投資を考えています。ただ、3Qについては2Qほどとはならない水準を考えています。
- 【Q9】 マイニング事業での電力構成比について、ESGの観点から見解と見通しを教えてください。
- 【A9】 当社は北米のある地域で余剰電力を市場から調達しております。当該エリアの電源構成は天然ガス火力、風力、石炭火力、原子力、太陽光など様々となっておりますが、電源構成につい

# GMO INTERNET

てはアンコントロールラブルとなっています。現状は天然ガス火力が50%弱で、風力や太陽光といった再生可能エネルギーの比率が年々上昇していること、今後もその割合が上昇する予定であるとも聞いております。

## ●その他

【Q10】 OMAKASEについて同サービスの強みについてもう少し詳しく教えてほしい。また、投資家視点で成果が出てくるのはどれくらいの時間軸をイメージしておけばよいか？

【A10】 OMAKASEは、予約困難店である飲食店さまがより料理に集中していただけるよう、課題解決を行う機能を提供してまいりました。結果として、店舗さまとの強固なリレーションが構築されており、予約困難店のご予約をOMAKASEが一手にお任せ頂いているような状況です。いわゆる飲食店の予約サイトとは差別化されたNo.1サービスになっています。この領域はインフラ事業・金融事業とのシナジーが効くと考えており、プロジェクトが始動しています。2~3年後には他社さんが追いつけない別の領域に行けるのではないかと期待しています。

【Q11】 人件費及びその他の費用の変動要因について教えてほしい

【A11】 人件費については、1Qに暗号資産交換・金融事業が活況であったことから業績連動のものがあり、そちら対前四半期で減少いたしました。その他の費用の増加については、主にインフラ事業における、stera端末の売上増に伴う仕入原価の上昇がありました。

【Q12】 下期以降の業績を考える上でのリスク要因や懸念点はありますか？

【A12】 グループでは最大限コロナ対策を行ったものの、やはりコロナの変異種の拡大による経済インパクトについて、いつ収束するのかという観点で懸念を抱いています。また、マクロ視点では経済の面で世界経済がテーパリングに入ることや、それに乗じてコロナの波が来ることなどの2年~3年のスパンで懸念をしています。また、在宅勤務体制における社内でのコミュニケーション不足が生まれていることも事実で、悪い影響が出てこないように脇をしめて経営を行っています。

【Q13】 上半期は自己株式取得の進捗がなかったが再開予定について

【A13】 保有しているインサイダー情報などがあり足元は進捗していないが、マーケット状況は鑑みつつも、市場との約束であることから必ず再開します。